

【概要】

2017年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用者編】(第1回)

I 調査の概要

調査対象期間(2017年4月～2017年9月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を2017年10月に実施し、その結果を取りまとめたものです。(回答数:1,495件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 「変動型」「固定期間選択型」の利用割合が増加し、「全期間固定型」の利用割合が減少<p. 3>

- ・「変動型」は、50.4%(前回調査:47.9%)に増加
- ・「固定期間選択型」は、36.9%(前回調査:35.1%)に増加
- ・「全期間固定型」の利用割合は、12.6%(前回調査:17.0%)に減少

2 今後1年間の住宅ローン金利見通しは、全体では「ほとんど変わらない」が増加<p. 12>

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通し(全体)は、「ほとんど変わらない」が57.6%(前回調査51.9%)に増加
- ・一方、「現状よりも上昇する」の割合は、29.4%(前回調査:37.5%)に減少

3 利用した住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」が多数<p. 19>

- ・利用した住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」が68.0%(前回調査:75.1%)と多数

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページ(http://www.jhf.go.jp/about/research/loan_user.html)に掲載